

➤ グローカルマネジメント副専攻プログラム(GMP)とは?

➡ 地域に根ざしたグローバルリーダーを育成するプログラム!!



副専攻プログラムって?? ～通常4学科の主専攻に加えて学ぶプログラム～

主専攻

2年前期
から所属

商学部

●経済学科 ●商学科 ●企業法学科 ●社会情報学科

主専攻卒業
所要単位
124単位

副専攻

2年後期
から所属

グローカルマネジメント副専攻プログラム

副専攻修了所要単位の30単位のうち18単位まで
主専攻卒業所要単位に含めることができます。

副専攻修了
所要単位
30単位

主専攻のほかに副専攻を学ぶことで、
知識や経験が広がり、
その後の進路の幅が広がること
間違いなしだよ。



➤ どんなプログラムか聞いてみよう!!

修了生の声
VOICE

平成29年3月 卒業

田野倉 光一 さん

平成28年度修了生
大手IT企業勤務



★GMP所属のきっかけは?

国際感覚と語学力(英語)を磨いて、キャリアに活かしたいという強い思いと、新しいプログラムに挑戦することに魅力を感じ、所属を決意しました。

★所属した感想を教えてください。

GMPでは、経済・商学系の専門科目を留学生と共に英語で学びます。自身の英語力不足から課題等で苦労したこともありましたが、一期生の仲間と切磋琢磨しながらやり遂げられたことに、大きな達成感を感じています。

★将来の目標・野望を教えてください。

GMPで得た知識や経験を活かし、グローバルな職場環境で様々なキャリアを積むことが目下の目標です。しかし、将来的には再び北海道に戻り、ローカルビジネスを通して地域振興に貢献したいと考えています。

★読者へのメッセージ

大学生生活は人それぞれですが、主専攻の他に副専攻を持てることは、商大ならではのことで、副専攻には、向学心の高い学生が集まり、自然と自分のモチベーションも高まります。充実した大学生活を望む方や、「世界で活躍するビジネスパーソンになりたい!」という夢を持っている方は、ぜひ所属を目指してみてください!

平成30年3月 卒業

三浦 晴華 さん

平成29年度修了生
大手航空会社勤務



★GMP所属のきっかけは?

大学入学当初から英語学習には力を注いでいたが、商学系の科目を多く履修するにつれ、「ビジネスの知識を活かし、グローバルに活躍するキャリアを歩みたい」という思いに変わりました。そのため、GMPの「英語で留学生と共にビジネスを学べる」という点に強く惹かれ、所属を決めました。

★所属した感想を教えてください。

GMPを通して、留学生と深く関わることができたことが、「所属してよかった」と最も感じる点です。留学生との協働は、言葉の壁や価値観の違いから、壁にぶつかることも多くありましたが、困難を乗り越えた分、自分自身を大きく成長させることができました。

★将来の目標・野望を教えてください。

私が勤務する職場は、多国籍な人と関わる機会が多くあるので、留学やGMP科目で得た英語力や国際感覚を活かしていきたいと考えています。

★読者へのメッセージ

GMP科目は、授業が全て英語で行われることや、学生が能動的に学ぶ授業が多いことから、他の授業と比べて、少し難しく感じることもあるかもしれませんが、しかしだからこそ、モチベーションの高い学生と共に、自分自身を成長させられる環境だと思います。自分で限界を作らず、まずは挑戦してみてください!

令和2年3月 卒業予定

高瀬 尚輝 さん

平成31年度修了予定
大手食品会社内定



★GMP所属のきっかけは?

私は大学生活を送るうえで、サークル活動に加えて学問にも全力で打ち込みたいと考えていました。そこで、GMPは大学内に居ながらにして英語で専門科目を学ぶことに加え、小樽の地域活性化についても学ぶことができる点に惹かれ挑戦しました。

★所属した感想を教えてください。

英語で行われる講義を受講することで、留学生との日常会話、論理的思考力が養われたことが最大の学びであると感じています。講義では留学生とグループ単位での活動が多く、英語での議論を交わすことに加え、自分がグループにどう貢献できるかという点には常に悩みました。しかし、失敗を恐れずに発言、行動することで乗り越えることができ、そういった留学生と協働し、共通の目的に向かい活動した経験が必ず今後の人生に活けると実感しています。

★将来の目標・野望を教えてください。

私は海外との関わりが不可欠となる現代のビジネス環境において、国境関係なく活躍できる人材を目指して成長し続けたいと考えています。GMPでの学びや経験を活かし、各国の文化に合わせてカスタマイズした日本商品を世界の市場に広げたいです。

★読者へのメッセージ

小樽商科大学にはたくさんの学びのチャンスが広がっています。特にGMPを始めとして、海外留学や大学内で英語や海外の文化を学ぶことができる環境が整っているのも、英語に関心のある学生には是非挑戦して欲しいです。また、大学生活を悔いなく過ごすことができるこの大学が皆さんの進路の選択肢の1つとなれば嬉しく思います。



国立大学法人 小樽商科大学

グローバルマネジメント 副専攻プログラム



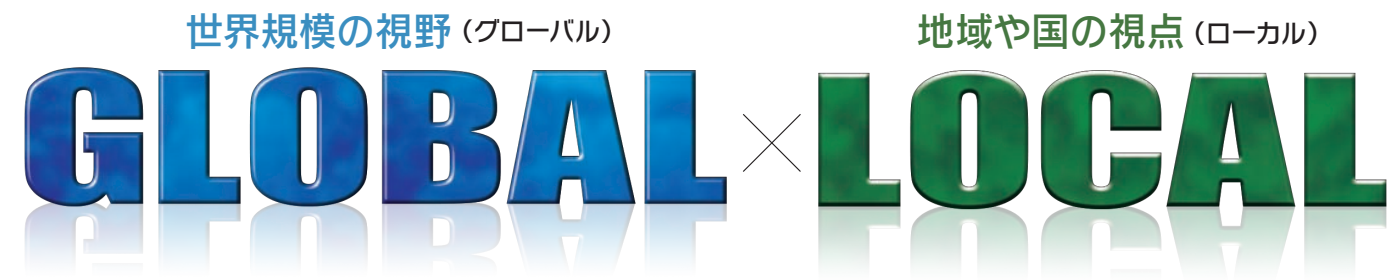
2019.07.01.2校



国立大学法人
小樽商科大学

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
TEL.0134-27-5244 (担当: 教務課学部教務係)
ホームページURL <https://www.otaru-uc.ac.jp/>

》グローバルってなに？



グローバルとは、グローバルとローカルを掛け合わせた造語。
グローバル(地球規模)な視野で考え、ローカル(地域視点)で行動する
という考え方です。

これからのグローバル社会で身につけたい3つの力

- 1 地域を理解する力・実践力
- 2 世界で通用する経営の専門知識
- 3 異文化理解・言語能力



3つの力を身につけて
地域に根ざした
グローバルリーダーになろう!!

地域と世界で
活躍する
ビジネスパーソン

》どんな科目があるの？

1 地域を理解する力・実践力

地域キャリア教育科目群

地域教育とキャリア教育が行われます。地域視点を養う教育を推進し、地域社会・北海道の一員としての意識、意欲及び責任感を育成します。産学官のネットワークにより、北海道経済の強み・特色を学ぶことができます。

【科目例】「地域学」「地域活性化システム論」「グローバリズムと地域経済」
「社会連携実践(通称マジプロ)」など

2 世界で通用する経営の専門知識

グローバル教育プログラム科目群

英語により、経済・ビジネスなどの専門教育が行われます。海外協定校からの交換留学生とともに学ぶことで、身近に外国語や外国文化に触れる機会が創出されます。また、留学時に協定校で取得した単位も認定されます。

【科目例】「グローバルマネジメント入門」「グローバルセミナーⅠ～Ⅳ」
「ビジネス経済学Ⅰ・Ⅱ」「アジア太平洋経済協力」「グローバルインターンシップ」など

3 異文化理解・言語能力

言語文化教育科目群

語学研修やサマープログラムなどの海外研修プログラムである事情科目、多言語・異文化理解志向科目で構成され、外国語と異文化理解についての教育が行われ、4年間で継続的に言語コミュニケーション・異文化理解の能力を向上させます。

【科目例】「アメリカ事情」「ヨーロッパ事情」「アジア・オセアニア事情」
「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」「比較文化Ⅰ・Ⅱ」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」など

！留学や海外研修プログラムへの財政支援も充実！！

◆小樽商科大学後援会助成金

交換留学の場合で10万～20万円、短期語学研修の場合で5万円の奨学金が支給されます。

◆佐野力海外留学奨励金

本学OBで元日本オラクル会長佐野力氏による寄付金「佐野力海外留学奨励金」が用意されています!!
言語文化教育科目群「事情科目」における、特定の海外研修プログラム参加費用への財政支援が行われます。



》グローバルな環境から未来が創造される

！グローバルラウンジⅠ・Ⅱ

多様な国際的バックグラウンドを持つ学生が自由に集い、多言語、異文化理解を深めるための多様な学びの拠点。



！コラボルーム

産業界、自治体、教育機関、地域住民などのステークホルダーが集まり、学生、教職員との対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出す場。



！学生起業サポートルーム

起業を目指す学生が利用する起業家教育の拠点。OBからのアドバイス、学生ベンチャー企業同士の相互交流も。

